

事業番号	0067	事業名	バイOMETリクスシステムの維持・管理
------	------	-----	---------------------

### 外部有識者の評価結果

<事業の支出先及び使途の把握水準について>

1 十分	1
2 改善の余地あり	3
3 不十分	3

※複数評価あり

(評価シートに記載されたコメント)

#### 【改善の余地あり】

- ・ 外国人個人識別情報システムについては、毎年20億以上かかる説得的説明を。
- ・ 適正な予定価格が設定されていないなど調達の仕方が不明確
- ・ 事業ごとに年ごとにかかった費用及び効果、目的、計画などの関係が少なくとも説明上不十分

#### 【不十分】

- ・ 自動化ゲートシステムについては、全く、導入時及びその後の意義が説明されていない。
- ・ 導入当時の目標、効果分析、現状把握に基づく将来設計のための定量的なデータを押さえられていない。
- ・ 証明方法、プレゼンする方法が稚拙で、それが故に判断を不必要に難しくしている。「ともかくやってみたい事業なのか」「mustなのか」など。

<事業についての見直しの余地について>

1 一部改善	2
2 抜本的改善	5
3 廃止	0
4 現状のまま	0

※複数評価あり

#### 【一部改善】

- ・ 外国人個人識別情報システムについては、コスト効率化に向けた努力を。
- ・ バイOMETリクスシステムのリプレイスについて、前倒しでコスト削減に取り組む必要がある。

#### 【抜本的改善】

- ・ 自動化ゲートシステムについては、費用対効果を明確に。自動化ゲートに誘導するシステムの構築を。
- ・ 自動化ゲートについては、抜本的見直し(廃止を含む。)が必要。単に「便利になる」ため、実際の審査時間短縮、コスト削減に結びついていない現状は失格
- ・ システム調達については、事実上のベンダーロックになっており、その調達方法及びコスト算定、査定のあり方を抜本的に変えるべき。
- ・ シナリオ、ビジョンが不十分。投資コストに見合う効果が出ているか。
- ・ 重要な事業と考えるが、戦略的なシステム「利活用」になっていないように思える。システム活用についてのシナリオを明確にする。改造コストも考慮する。
- ・ 入札とはいうものの結局1者となっているところから、価格の妥当性が検証しにくい。事業そのものは有用かつ必要と考えるが、価格決定にもう少し努力の余地があると思われる。また、将来の見通しについての計画性が弱いと思われる。
- ・ 減額あるいは増額要求に対して判断できない。プロセスマネジメントの手法を入れていくべき。